

こんにちは 町会です


 浜町一丁目
町会


 佃一丁目
町会


 入船二丁目
町会

あなたの一歩で、
まちにさらなる「にぎわい」を！
みんなで支えよう、まちの伝統行事！

祭 特 集 号

お問合せ先

- ◎京橋地域
区民部地域振興課
電話：03-3546-5337
- ◎日本橋地域
日本橋特別出張所
電話：03-3666-4251
- ◎月島地域
月島特別出張所
電話：03-3531-1151

すでに町会・自治会に加入されている皆さん！
皆さんの知恵や活動力など、まちは新しい
力が必要としています！皆さんでお祭りを
はじめ、まちをもっと盛り上げましょう！
めてみませんか！

まだ町会・自治会に入っていない皆さん！
ぜひ加入してまちのお祭りやその他のイベ
ントなどを通じて、地域でのつながりを深
めてみませんか！

そこで今回は三つの町会の歴史と伝統を
誇る夏のお祭りや納涼行事などのイベント
を中心に紹介いたします。そこではさま
ざまな世代の方たちが参加し、皆が力を合
わせて、積極的に運営を行っていました。

夏はお祭りシーズン。大江戸まつり以外
にも、各地域の町会・自治会が主催する盆
おどり大会や納涼行事も数多く盛大に行わ
れ、まちは大いににぎわい、活気に溢れて
いました。

平成29年8月25日・26日の2日間、中央
区大江戸まつり実行委員会・中央区が主催
する「中央区制施行70周年記念 第28回中
央区大江戸まつり盆おどり大会」が区立浜
町公園にて開催され、多くの方々にご来場
いただきました。

地域のお祭りなどを通して、町会・
自治会活動に参加してみませんか。



地域合同で工夫凝らした 納涼行事が自慢

入船二丁目町会会長

和田希貞さん



年が明け春の訪れを感じ始める頃、入船界隈ではそろそろ祭りの季節。五月の連休期間に開催される鉄砲洲稻荷神社の例大祭に続き、八月初旬の鉄砲洲盆踊り、八月最終日曜日の子どもで賑わう納涼会と、入船二丁目町会の上半期は地域・町会の納涼行事が目白押しです。今年も三年ぶりとなる御本社神輿の氏子全町会(十七町会)による合同渡御が行われ、また子どもたちによる「新富座」なども歌舞伎も開始前から長蛇の列ができるなど、例年にも増して壮大な祭りとなりました。三年に一度の本祭りのときには、入船二丁目町会でも町会神輿を出し、友好町会、神輿会の助力を得ながら盛大に町を練り歩きます。

八月は納涼行事が目白押し！

町会主催で行う「鉄砲洲盆踊り」は、今年も七月三十一日、八月二日に開催(八月一日は雨の為中止)。これは入船一・二丁目、湊一・二丁目の四町会合同で開催している納涼行事で、入船二丁目町会では青年部が中心となってビールやラムネなど飲み物の販売を行っています。例年平日

夜に開催しているため、近隣企業に勤める人などが帰る途中で立ち寄り、マンションに住む親子連れなどが参加したりと、会場となる鉄砲洲児童公園は踊りの輪と見物人であふれかえるほど。各町会婦人部が幹な所作で踊る姿を見て、自然と踊りの輪に加わる人も多く、同地域の夏の風物詩となっています。

また「子どもたちの夏の思い出」と、入船一・二丁目町会合同で開催している納涼子ども会は、ダンスありゲームありのにぎやかなお祭りです。年々両町会で企画する出し物も増えており、昨年から東京メトロが協賛する子ども用制服の貸出による記念写真撮影なども加わったことでちびっ子達は大喜び。また、町会で備蓄している非常食の調理配布では災害時の炊き出し訓練を兼ねるなど、イベントを有効活用する工夫も凝らしています。

「中央区のご真ん中」の魅力発信

入船二丁目町会は中央区の中でもエリアが狭く、町会員も四三〇人と小ぶりの組織ですが、戸建住宅あり、マンションあり、企業あり、飲食店あ

り、印刷関係のミュージアムやサモア独立国大使館と、『まち』が凝縮している「中央区のご真ん中」。多彩な人材が集まる魅力がある上に、祭り好きが高じて同地区に住み始めた人もいるほど。「青年部が出すアイデアに長老組がサポートに回るなど、年配者も若者もうまく融合しています」と話す和田会長。今後も「知恵と人材を生かし、工夫しながら魅力ある町会にしていきたい」と話されました。



互いにアイデアを出し合う
役員・青年部メンバー

毎年にぎやかな納涼子ども会

町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板(会員のみ利用可能)や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極にご活用ください。

中央区のホームページからも
リンクがありますので、ご利用ください

中央区 町会・自治会ネット

検索

お問合わせ先

区民部地域振興課
自治振興係

03-3546-5337



日本橋
地域

“みんなウエルカム”の精神で、 マンション住民も積極参加

浜町一丁目町会会長 鈴木征矢すずき せいやおさん



隅田川沿いに位置する浜町一丁目。江戸時代には武家屋敷、その後は料亭が立ち並び華やかなにぎわいを生み出していました。現在もその名残をとどめながら、新たにマンションも建ち並び若手・子育て世代が増え、今年三月には居住人口が一千人を超えています。マンション居住者の参加を増やすため、「マンション管理会社」にお願いをして、管理組合総会に出席させてもらい町会について説明しながら、一棟ずつ加入を増やしていきました。」と鈴木会長。町会員はいろいろな町会活動にも協力的で、六年前に青年部と婦人部を合併した町会下部組織『浜一会』の主要メンバーとして町会を支えているといいます。

一大イベントの納涼盆踊り大会

その町会活動における最大のイベントは、毎年八月最終日曜日に開催している納涼盆踊り大会。今年で三十七回目を迎える大会には、近隣に住む住民も参加できることから、例年四百〜五百人が集まります。準備は浜一会が中心となり、一覧表を作成し役割分担するとともに、出し物

の企画なども協議しながら決めています。

午後から始まるお祭りでは、子ども向けの出し物として射的、金魚・ヨーヨーすくいなどのゲーム（一部有料）を準備し、屋台では大好評の焼き鳥に加え、焼きそば、生ビールなど大人も楽しめるメニューをラインアップ。夕方から始まる盆踊りでは、町会の高齢者層組織「はまゆう会」や「浜町音頭保存会」メンバーが率先して踊る姿に、周りで観ている人たちも自然と踊りの輪に加わっていきます。子どもたちがはしゃぐ姿につられ、母親同士や町会メンバーとも話が弾み、終わる頃にはすっかり顔なじみに。鈴木会長は「ここ数年新規住民や子どもたちも増えていきますので、“みんなウエルカム”の精神で楽しんでもらっています。それに祭りは見るだけでなく参加した方が面白いですから」と話します。

祭りが「呼び水」に

また、神田明神が二年に一度開催している神田祭には、浜町一丁目町会も氏子町会の一員として町会挙げて参加。全国から神輿を担ぎに祭り

好きな人が集まり町全体を気づけるとともに、新規住民と既存住民の接点を生み出すきっかけにもなっています。祭りの季節になると途端に盛り上がる町会員もいたりして、そんな姿を見ているうちに「町会の活動に参加したい」という住民も増え始めているようです。

祭りを中心に積極的に活動する町会ですが、やはり今後の課題は若手の加入促進。すでに親子で参加できる花火大会やボーリング大会などを開催しています。今後は季刊の町会ニュースを発行し、広報活動にも力を入れていく予定です。



金魚すくいなどの出し物は子ども達に大人気



盆踊りを盛り上げる女性陣

“あなたの力”が“まちを元気”にする『地域コミュニティの担い手養成塾』受講生募集

顔の見えるつながりづくりに欠かせない存在の、地域コミュニティの「担い手」候補を募集中！

楽しく人を惹きつける力と人脈を手に入れるための養成塾を開講します。中央区を盛り上げるキーパーソンを目指してみませんか？

①日時…10月25日から11月29日までの毎週水曜日 午後7時～9時 全6回

②場所…京橋プラザ区民館1号室(中央区銀座1-25-3)

③定員…20名(申込多数の場合は抽選) ④費用…無料

⑤申込方法…10月13日(金)までに電話又はEメールで下記申込み先へ申し込む。

※Eメールの場合は ①講座名 ②氏名・ふりがな ③住所 ④電話番号 ⑤団体名(所属している場合のみ) を記入

⑥問合せ・申込み先…地域振興課自治振興係 電話:03(3546)5337 メール:tiiki_01@city.chuo.lg.jp

こちらから中央区ホームページに
アクセスできます▶




 月島地域

伝統を受け継ぐ、 結びつきの強いまち

佃一丁目町会会長

小沢貞夫さん



徳川家康が江戸幕府を開いた同時期、江戸に下向した摂津国(現在の大阪府北中部、兵庫県南東部あたり)の漁夫が定住したといわれる佃地域。

その中でも佃一丁目は、故郷の名を取って、住吉神社が社地として分祀された場所です。三年に一回行われる本祭りでは、「佃住吉講」という氏子組織が中心となって奉仕しています。ほかにも東京都指定無形民俗文化財となっている「佃島の盆踊」(文化財所有者・佃島盆踊保存会)が開催されるなど、江戸時代から続く伝統が地域を強く結び付けるとともに、大きな魅力となっています。

気軽に楽しめるお祭りとして スタート

八月下旬の二日間に開催する「納涼盆おどり大会」(住吉神社本祭り開催年は休止)は、約二十年前に「住民が楽しめるにぎやかなお祭りがしたい」という要望を受けスタートしました。当初は佃一丁目から三丁目までの連合会で開催していましたが、十六年前に町会単位での開催に変更。町会の中で子どもの数は多くないですが、盆踊りのときには近隣の

親子連れなども含め三〇〇人以上が集まる夏の風物詩となっています。

二日間開催する同大会は、盆踊りのプログラムは町会内の民舞連メンバーが決め、やぐらの設営や太鼓の準備、当日のスケジュールなどは町会の社会文化部が中心となって準備します。特に参加者に無料で配布する屋台メニューは毎年好評で、飲み物に加え一日目はフランクフルトや焼きとうもろこし、二日目は焼きそばと日替わりメニューで用意し、また近隣の子ども達も大勢集まることから、近所のお店で使えるお菓子券もプレゼントするなどの工夫も凝らしています。

こういった縁日などを支えているのは町会の女性陣です。「住吉神社の本祭りのときも含め、裏方の仕事を支えてもらっています」と副会長の安西隆さん。女性メンバーも「やることは長年の経験からわかっていますので、特に分担を決めなくても自然と動く感じですよ」と笑顔で話してくれました。

「元佃」らしさを大切に

佃一丁目は昔からある家屋が多

く、新規住民や町会員の数も増えていくのですが、「元佃」といわれるように、昔ながらの路地が残る住民同士の息遣いを感じられることが魅力です。お祭り以外にも、日帰りバスハイクやもちつき大会といったイベントや、防災訓練での井戸を利用したバケツリレーやお年寄り世帯への声掛けなどを通じ、これからもつながりの深い町会を守り育てていく方針です。



子ども大人も一緒に踊って楽しむ盆踊り大会



無料配布の食べ物・飲物は大人気

コミュニティふれあい銭湯

中央区では、コミュニティふれあい銭湯として**毎月第2・第4金曜日は一人100円**
(敬老入浴証持参者および小学生以下は無料)で入浴をお楽しみいただけます。

みなさんのご利用をお待ちしております。

- 時間 各浴場営業時間
- 場所 中央区内公衆浴場(銭湯)
- 対象者 中央区内在住・在勤者
- 入浴料金 一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料
※石鹸、シャンプー等のご持参下さい。



お問い合わせ先

区民部地域振興課
区民施設係
03-3546-5623

中央区浴場組合
ホームページに
アクセスできます▼

